

令和4年度 瀬波地区区長会要望事項

1. 基盤整備部門

1). 県道瀬波温泉線の歩道整備について

県道瀬波温泉線の歩道につきましては、浜新田集落内から温泉交差点までは、未だに整備がなされていない状況にあります。この区間は、カーブが連続し見通しも悪く、また、瀬波温泉から瀬波地区及び上海府へ通り抜ける車両も多く通行しています。平成26年度には、速度抑制のためのドットマークによる路面標示をしていただきましたが、根本的な解決には到っていない状況にあります。

このような状況を踏まえ、歩行者の安全確保のためにも、村上市から新潟県へ早急な歩道整備の事業化を働きかけていただくよう要望いたします。





【回答】

ご要望の箇所につきましては、現道沿いに建物や工作物も多くあることなどから、現在のところ事業化の見通しが立っていない状況です。そのため、通学路の合同点検に基づく通学路交通安全対策プログラムによりドットライン等の路面標示を設置していただき、歩行者の安全確保を図っております。

本市としましては、地域の実情を踏まえ、引き続き県に対し事業化の要望を行うとともに、道路管理者である県並びに警察、学校関係者、地域と連携し歩行者の安全確保に努めてまいります。

(問合せ先：建設課)

2). 国道345号堀川橋から瀬波温泉跨線橋までの歩道整備について

国道345号の歩道については、堀川橋下流歩道橋から瀬波温泉跨線橋まで、歩行者用信号機が設置されているにもかかわらず、歩道未整備区間となっております。当該路線は、村上総合病院の移転新築、大型商業店の出店、新興住宅地の開発に伴って、車両の交通量、歩行者が非常に多くなってきております。平成26年度にはカラー舗装を行って歩行者の安全を図っておりますが、根本的な解決には至っていない状況にあります。

この中で、児童、生徒をはじめとする歩行者の安全確保と利便性向上のためにも、新潟県へ歩道整備を働きかけていただくよう要望いたします。



【回答】

ご要望の箇所につきましては、通学路であることを踏まえ、以前から県に対し事業化の要望を行っておりますが、現道沿いに建物や工作物も多くあることなどから、現在のところ事業化の見通しが立っていない状況です。そのため、通学路の合同点検に基づく通学路交通安全対策プログラムにより、外側線の引き直しやゼブラ等の路面標示を設置していただき、歩行者の安全確保を図っております。

本市としましては、地域の実情を踏まえ、引き続き県に対し事業化の要望を行うとともに、道路管理者である県並びに警察、学校関係者、地域と連携し歩行者の安全確保に努めてまいります。

(問合せ先：建設課)

3). 村上中等教育学校へ震度感知式鍵ボックスの設置について

令和元年6月に発生した山形県沖を震源とする大規模地震の際には、村上中等教育学校へ避難した住民がおりましたが、学校の先生が来るまで中に入ることができず待っていると状況がありました。そのため瀬波小学校に設置されているような震度感知式鍵ボックスの設置を要望しましたが、令和2・3年度の回答では、同校は県立の施設であるため、新潟県と設置の協議が必要で、しかも学校開放していない県立高校については体育館から校舎へ進入できないような設備がないため管理上の問題もありボックスの設置に至っていないということ、その代わりスペアキーを市が預かったうえで夜間等の災害時は早急に市の避難所担当職員が駆け付け鍵を開ける体制にして対応しているとのことでした。しかし、この方法だと昨年回答にもあったように、市の避難所担当職員が到着する前に先に避難者が到着している事例もあったということで、迅速さに欠けることもあり、今後いつ強い地震が来るかもしれない状況の中で一刻も早く県と協議し、村上中等教育学校にも震度感知式鍵ボックスを設置できるように新潟県に働きかけていただきたく要望いたします。

(村上中等教育学校)



(瀬波小学校に設置している防災ボックス(鍵ボックス))



【回答】

一昨年度から、市でスペアキーを預かった上で夜間等の災害時は、早急に市の避難所担当職員が駆け付けできるような体制をとっております。また、今年度から担当職員は近隣に在住する職員を割り当てし、迅速に避難所の鍵を開ける体制をとっております。

震度感知式鍵ボックスの設置の件については、体育館側から校舎に自由に進入できない設備等が必要となるなど課題があるので、学校側と今後も引き続き協議してまいります。

(問合せ先：総務課)

4). 瀬波温泉跨線橋の階段の修繕について

昭和47年に完成した、国道345号上緑町から肴町にかけて JR 上にかかっている跨線橋ですが、架設してから50年になり、跨線橋の上部の歩道に上がる階段が腐食して穴があいているなど老朽化が目立ってきてます。昨年の要望では、階段部の腐食して穴が開いた箇所の補修については、県において昨年の10月末に完了するという回答をいただきましたが、現在も穴が開いている箇所が見受けられる状況であります。この階段は中等教育学校や村上第一中学校の生徒等が多く利用しており、事故が起きる前に修繕していただくよう、村上市から新潟県に働きかけていただきたく要望いたします。

(緑町側)



(肴町側)



【回答】

ご要望の瀬波温泉跨線橋階段部の修繕につきましては、現在発注の準備を進めており、今年の12月末までには工事を完了させる見込みと伺っております。

(問合せ先：建設課)

2. 環境整備部門

1). 瀬波町裏排水路と渡山辺里川の管理について

瀬波町裏排水路については、計画的な浚渫と除草を行っていただいております。また、緑町四丁目地内を流れる渡山辺里川につきましても、毎年草が生い茂る状況で、また今後も土砂の堆積が懸念されるところでございます。

このような状況を踏まえ、瀬波町裏排水路と渡山辺里川につきまして、こまめな除草と、定期的な土砂の浚渫を要望いたします。



(渡山辺里川)

(瀬波町裏排水路)



【回答】

瀬波町裏排水路の浚渫につきましては、毎年計画的に実施しており、今後も継続して排水路の環境維持に努めてまいります。

また、渡山辺里川につきましては、現在は土砂の堆積は多くは見受けられませんが、今後も定期的な状況確認の実施と除草作業も含めた管理を計画的に実施してまいります。

(問合せ先：建設課)

3. 文化振興教育部門

1). 米軍上陸記念碑及びイカリの維持管理について

瀬波新田町の海岸にある米軍上陸碑及び米軍のイカリにつきまして、米軍上陸碑については平成7年に当時の市社会教育課から補助金を受けて、また、イカリについては協働のまちづくりからの支援を受け、イカリの塗装と格納建屋建設を行いました。

しかし、今後、補修等の維持管理費の捻出が困難な状況にあります。戦争体験者が少なくなっており、悲惨な戦争体験を語り継ぐためにも、この遺物は、非常に重要なものだと考えております。昨年の回答では、「イカリ本体については、平成21年度村上市文化財保護審議会による現地視察の結果、当地で製作・使用されてきた遺品ではないため文化財への指定は難しい。しかし、米軍上陸記念碑及びイカリは本市の戦争遺構として平和教育への活用も考えられるため、瀬波地区区長会及び瀬波地区と協力しながら維持管理が図られるように進めていきたい。」とのことでした。ですが、今後の維持管理について、市で行なっていただけるよう再度強く要望いたします。



【回答】

米軍上陸記念碑及びイカリの維持管理につきましては、昨年度も回答いたしましたが、地域の資源（財産）として地域で管理いただくべきものと考えております。

維持管理に伴う補修等の必要が生じた場合には、市にご相談いただき、瀬波地区区長会、地域まちづくり組織等の関係機関と補修の方法等も含め協議させていただきます。

（問合せ先：生涯学習課）